

令和 2 年 6 月 1 1 日

議会改革検討会

座長 金 澤 俊 様

議会改革検討会実務者会議

座長 藤 田 広 美

議会の I C T 化の推進に関する検討について（第 1 次答申）

令和元年 1 1 月 2 6 日、令和 2 年 2 月 1 2 日、4 月 2 0 日及び 6 月 1 1 日に議会改革検討会実務者会議を開催し、議会の I C T 化の推進について検討した結果について、下記のとおり答申します。

記

1 運用方法及びシステム構成、導入機器の選定について

(1) 運用方法について

議員活動で幅広く活用でき、情報伝達の即時化により災害時にも有効になるため、セルラーモデルの導入とする。

(2) システム構成について

タブレットの導入効果を最大限発揮するため、ペーパーレス会議システムとグループウェアのアプリケーション導入とする。

(3) 導入機器について

導入するタブレットについては、他の市議会の導入事例やセキュリティーの面から iPad Pro をレンタルでの導入とする。

2 費用負担について

タブレットの利用について、アプリケーションの費用及び初期設定等の導入にかかる費用は議会費からの支出とし、月々発生するタブレット利用料や通信費等のうち2分の1は議会費、2分の1は政務活動費とする。

また、苫小牧市議会政務活動費に関する取扱要領の第4条第5項の規定により、政務活動費の半分は議員負担となることから、月々発生する利用料や通信費等は議会費で2分の1、政務活動費で4分の1、議員負担で4分の1とする。

費用の一部を議員負担することにより、個々の議員活動の際などに有効活用し、議会基本条例にうたっている広報広聴の充実につなげる。

3 導入スケジュールについて

タブレットの導入は令和3年度を目標とする。

4 その他

検討項目のうち、利用規約等のルール及び市執行部との調整については、引き続き検討することとする。